

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	08年8月よりそれまでの理念の見直し(成分化)を行い6ヶ月かけて09年1月よりはるひの新理念として掲げている		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	新理念を毎月のケア会議の際には唱和し併せて運営者から内容の説明、思いを噛み砕いて説明してる		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	苑内には理念を掲げご家族には家族会等で説明しグループホームとしてどのような暮らしを提供したいか説明している		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	受診や買い物時等昔馴染みの知り合いに出会ったときには訪問のお誘いをしたり、回覧板を持っていく際には近所の方に気軽に声をかけていただいている	○	今後も積極的に取り組みたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会の花見や地区の運動会、文化祭、空き缶拾い等出来るだけ参加し文化祭には利用者の展示コーナーを設けてもらい作品の展示をさせていただいている	○	今後も積極的に取り組みたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	中高生のサマーボランティアスクールの施設体験学習、毎年の中学生の体験学習の受け入れを行っている	○	これからの実践としてホームページ、はるひ便りの地域版の発行の予定がある
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員で各自自己評価を行い、毎年評価内容をふまえ全員で共有し実践するようにしているが業務に追われ積極的な取り組みも難しい	○	今後も改善点の実施に努めたい
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況やサービスの実際、問題点を提示しご意見、ご助言いただきサービスの向上につながるよう努力している 地区担当の警察官の移動時には利用者の方と顔なじみになるよう会議に出席していただいている		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	出向いたり、電話で相談やご助言いただきサービスの向上に努めるようにしている		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	以前、社内研修を行ったこともあるが成年後見制度の利用をされている方もあり今後も制度の説明、ご家族へのアドバイスなど職員共々自己研鑽を図りながら支援していきたい	○	研修の参加
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ケア会議時や毎朝の申し送り時等で気付かない内の言葉の拘束などはないか振り返りを行っており、又、各自その日のうちに利用者へ何度声かけを行ったか自問するようにしている	○	事業所内外の研修の参加

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居前にはご家族に契約書、重要事項、パンフレットをお渡ししご本人にもホーム内を見学していただき疑問、不安点についてはお話をさせていただいている	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族が来苑された際には出来るだけ自室でお話出来るようお茶の時間を設けるなどして利用者からの不満、不服が言えるよう配慮し又、毎月の報告書などの送付時にはご意見、ご要望が記載され返信できるよう返信用封筒をお送りしている	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりや健康状態については毎月の介護計画書、モニタリング経過報告書、受診票、苑便り等にてご家族にお伝えし職員の移動、利用者の担当の変更なども併せて行っている	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族、その関係者には契約時の説明、重要事項等にて詳しく説明していると共に玄関にはご意見箱も設置し運営推進会議時や家族会時にもご意見、ご要望をお尋ねできる機会を設けている	
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	意見、問題点など自社の組織の中でも重要な位置を占めている責任者会議にかけ、常に検討しながら反映するようにしている 又、運営者、管理者は年間計画の中で個別面談を行い職員の意見も取り入れるようにしている	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	職員や家族の急変時には職員のスムーズな連携プレーにより対応を行うようにしている	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	申し送り、引継ぎを行い利用者には心理的な負担のない様配慮している、担当者変更時にはご家族にもお知らせしている	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	2年前から幹部社員と取り組んだスキルUPセミナーの導入で職員個々の目標設定などで資格取得、研修など意識改革が出来るよう努めている	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	益田圏域のグループホーム職員交流研修会に参加しテーマを決めて勉強会を行い同業者からの話題の提供や問題点について話し合い解決につながることも多い	
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の体調にはいつも注意しながらシフトの調整及び環境作りには配慮しているがストレスの軽減までは中々難しい	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	スキルUPセミナーの取り込みにより自己に挑戦する意欲を引き出しそれが昇格、昇給、賞与に反映する仕組みにしている	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前の面接もご家庭やサービス利用中のご本人にもお会いし状況を把握すると共に思いも傾聴するようにしている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前にはご本人、ご家族と共にホームの見学をしていただきご家族の思いも傾聴、相談に応じながらご家族の不安や心配などたくさんの事柄について常に受け止め信頼関係が築けるよう努力している	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ホーム見学時にご本人やご家族の思いや状況を確認し入居を必要とされているかどうか話し合いの場を設けている		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご家族の面会、電話連絡をするなど相談を重ねながら馴染んでいただく努力をしている		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	物作りやゲームなどお互いに話し合いながら行い野菜作り、園芸など得意分野はお願いするようしており又、柏餅作りなど時には粉の割合、分量など利用者の意見を尊重しながら行っている		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	毎月の報告時にお伝えしたり、急な対応が必要な時にはその都度連絡し相談、ご助言をいただくようにしている。又、外泊、外出時には身体状況や服薬について情報の共有を行うようにしている		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	毎月の報告でご本人の様子はお伝えしているがご家族と直接お話が出来るよう電話の対応にも配慮している		ご家族の訪問も遠方の方については難しい面もある
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前から利用されていた馴染みの美容院の利用やかかり付け医の受診時には知り合いの方からの声かけもいただいている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気分のすぐれない時や状況によりトラブルにつながることもたまにあるが職員が間に入り気を紛らわせていただいたり全員で和やかに過ごしていただけるよう配慮している		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	他の施設に移られる時にはアセスメントなどの情報提供を行い移られた施設の訪問やご家族とも思い出話など出来る関係を築くよう努力している		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	話しかけ、聞き取りを行い出来るだけご本人の思いを大切にしている		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族からの情報も十分に出来ない部分もあるが担当のケアマネジャーや包括支援センターの方々などから情報をいただいている		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人その人に合った暮らしの中でご本人の思いを大切にしながら皆さんで楽しんでいただける様な取り組みを行っている		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	主治医の意見、本人の思い等毎月2回のモニタリング、ケア会議時に利用者の担当が中心となり意見を出し合い検討し、ご家族の思いや意見など毎月の返信用にて確認している		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎朝の申し送り時の報告や体調の変化に応じて対応、必要時には主治医に相談、ご家族に連絡し見直しも図る		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録票をもとに全員でモニタリングを行い各担当者が中心となり必要時には見直しを図っている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人からの要望時には買い物の同行、お寺参りなどの支援を行い又、ご家族水入らずでの誕生会については場所の提供を行っている		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	毎年中学生の体験学習の受け入れや保育園児の訪問や出向いたりと交流を図り公民館活動にも出来るだけ参加するようにしている		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	それぞれの馴染みの美容院のサービスの利用		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	利用者の状態に応じ相談や指導、アドバイスを受けるようにしている		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診と共にかかりつけ医の受診の際には職員が同行し経過報告書をもとに状況説明を行いご家族には受診報告書でお知らせしている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	月2回の往診時に身体面、生活面での相談、ご指導をいただいている		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	介護計画作成者が看護師であり常に主治医、医療機関との連携により支援し、必要時には訪問看護の利用など行っている		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には職員が付き添い情報の提供、入院中は度々面会に行き家族に連絡を行い退院時には家族と共にケアカンファレンスに望み退院後の対応を図る		
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	主治医、ご家族と話し合いを行いながらできる支援を行う		
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	当事業所で出来ること、出来ないことを見極め早めにご家族、主治医と相談をしながら対応していきたい		
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他施設への入居時にはご本人の意思確認も行いながら関係機関への情報提供も行い混乱がないように努めている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	その人その人に合った言葉かけ、対応にて支援し十分注意しながら記録も行っている	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人に納得していただける声かけを行い出来るだけご自身の意向に添うよう配慮している	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の体調、気分に合わせてご本人のペースに合わせている	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	馴染みの美容院へお連れしたり、又は出張していただいている。服装もさりげなくアドバイスしたり化粧される方については職員が支援している	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を一緒に買いに出かけたりテーブル拭き、片付け等のお手伝いやお好み焼き、柏餅作りなどには積極的に手伝っていただいている	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	おやつ時の飲み物はお好みのものを飲んでいただいたり買い物に同行された時には好みのものを選んでいただいている	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄時間を把握しながら出来るだけ失敗のない様注意しながら早めの対応に努めている		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的には1日置きの入浴であるがその日の利用者の状態に合わせて入浴していただいている		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜中に起きてこられる方については飲み物を用意したり職員が話し相手になったりして気分をやわらげ休んでいただくようにしているがその後は皆様良眠されている		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	出来る方は朝の玄関周りや室内の掃除、花の水遣りなどご自分の仕事としてされている。ピアノが得意な方には誕生日の歌に併せて弾いて頂くなど支援している		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	所持金を持たれている方は買い物の同行時に好きなものを購入され金銭もご自分で管理されている		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	庭や畑の草取り、散歩や回覧板の持参や買い物など出来るだけ外出できるよう支援している		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	他施設からの食事の招待、児童館の園児さんとの交流など出来るだけ行い利用者の方の笑顔も多く見られ思い出作りが出来るよう努力している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	かかってきた電話の取次ぎや希望された場合には電話をかけるなど支援しながらはがきや手紙が送付された時には思い出話などするようにしている		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会時間の設定もなく外出時や利用者が出会われたときには気軽に訪問していただく声かけをしている		
取り上げ				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はもとより言葉による拘束については毎回の会議時に課題として取り上げ検討している		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	苑独自で飛び出し注意の看板も設置しているが夜間以外施錠はしていない		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者の居場所の確認、見守り行っており転倒の危険性の高い方の居室にはチャイムを設置し危険防止に努めている		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	消毒液や洗剤など職員の管理、はさみなど使用される時には職員の見守りで危険防止に努めている		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者お一人々の状況を把握し危険を察知するようにしており毎月の会議時には課題として取り上げヒヤリハットについても1例々全員で検討している		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急対応マニュアルを備え秋には救急法の講習会を予定している		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練時には自治会長、近隣の方にも参加、協力をお願いし避難場所としている公民館にもお願いや緊急時の通報のお願いもしている		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	ご家族には現在の状況をお伝えし緊急時にもその都度連絡、相談するようにしている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	常に個人記録票、業務日誌、申し送りなど利用者の体調の変化など早期発見に努めている		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人の服薬管理票をもとに記載されている目的、用法など把握し、職員の2重チェックにより服薬支援、服薬変更時には申し送り、受診票確認及び薬剤の適用内容の確認を行っている		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個別の排便シートの確認により緩下剤の服用、水分補給、特性ジュース、牛乳等一人々に合った対応に努めている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアは必ず行い義歯は毎日夕食後職員が消毒、保管管理を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立を中心に利用者の好みも盛り込みながら調理し個々に合わせた(医師よりの指示)摂取量の盛り付け、水分補給も十分出来るよう声かけを行っている	
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを設け手洗い、うがいの励行、外出後にも利用者、職員ともうがい、手洗いを徹底している。必要な予防接種は利用者、職員とも全員受けている	
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品の賞味期限の確認、調理者のこまめな手洗い、食器の乾燥消毒、まな板、布きんの消毒も徹底して行っている	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	自由に入出入りできるようになっており玄関は開放し月2回の利用者の行う生花など飾るようにしている	
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	調理者が見守りできる調理場になっており季節毎の作品など飾ったり明るい雰囲気作りを心がけている	
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ダイニング内では自由に好きな場所で過ごしていただき和室の利用やベンチの利用、中庭での休憩など自由に出来るようになっている。利用者同士お部屋でお話をされることも見受けられる	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族の好みで馴染みの家具や使い慣れた物を満ち込まれている方もある。ベットの利用や望まれた方には畳で過ごされて方もありそれぞれ自由に暮らしていただいている		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各部屋、トイレの換気扇は常に稼働させ、午後の掃除時には窓の開放臭いの気になる部屋はその都度換気に注意している		
愛				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手引き歩行の方、対面歩行介助の方、手すり使用の方など、身体状況に格差があるが出来るだけご本人が出来る部分が生かされるよう支援を行っている		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	援助する側が出来るだけ利用者の混乱や失敗のない様注意しながら対応するよう努めている		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭でのお茶や、花火、すいか割り、ソーメン流しなど楽しんでいただけるよう支援している		

g		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)